

# 広報 ごしよがわら

発行所

五所川原市役所

第577号

昭和59年10月15日

印刷 (南) 西北印刷

市の人口 男 25,378人  
52,635人 女 27,257人

世帯数 14,644

(昭和59年10月1日現在) 住民基本台帳から



## 七ツ館小グラウンド完成

ブルが入ったあの日から  
今日か明日かと待ちかねた  
子らの願いと父母の汗  
ようやくみのり土の香も  
まだ新しき運動場  
前夜の雨も暗れわたり  
会場めぐらす万国旗  
身にさわやかな風うけて  
みんな集まり魂入れ

古い歴史の伝統で  
子孫の栄え野の幸を  
祈った故事をそのままに  
今に伝える文化財  
古老の妙技引継いで  
学びの庭にあかあかと  
浅井獅子舞ここに在り  
今日は自前の祝舞だ

雄獅子に雌獅子オガシコが  
秋空いっばい四肢伸ばし  
とても児童と見えぬ技  
こころは白い雲となる  
獅子に合わせた集団演技  
未来の虹をさながらに  
ときに明るくたくましく  
またしなやかにのびのびと  
みごとに花をひらかせて  
わがふるさとを謳歌する

この運動場は子らのもの  
狭い校庭飛び出して  
走ろう跳ねようはつらつと  
希望の星になりきって  
さあ思い出をつくろうぜ

# 道一筋 地域発展に貢献

## 文化褒賞は工藤、下山氏



市褒賞、文化褒賞授与式

昭和五十九年度の市褒賞、文化褒賞の授与式が、十月一日午前十時から市内本町の五松苑で行われ、葛西専造氏ら七氏に市褒賞、工藤哲美氏ら二氏に文化褒賞がそれぞれ贈られました。

また、受賞者の夫人には内助功労章が贈られました。授与式には、各受賞者をはじめ来賓としてこれまでの受賞者など四十四名が出席しました。授与式では、君が代斉唱のあと、森田市長が受賞者と夫人一人一人に表彰状と褒章を手渡し、「今日の受賞を市民ともども心からお祝

## 市褒賞に葛西、開米、川崎、橘、外崎、福士、三上氏

## 橘、外崎、福士、三上氏

い申し上げます」と式辞を述べました。

次いで、寺田市議会議長、村上純一市表彰推せん委員

会会長が祝辞を、また受賞者を代表して福士孝一氏が「本日の受賞を心の糧として、今後とも市勢発展のために尽力したい」とお礼を述べました。以下、各受賞者を紹介します。

### 老人福祉の向上に貢献

葛西 専造氏(72)

多年にわたり老人クラブ連合会長として老人クラブの育成と老人の生きがい創造につとめ老人福祉の向上に貢献されました。

内助功労章 ソキさん

### 地域農業の振興に貢献

開米 佐太郎氏(67)

農業協同組合の合併を図り永年にわたり農業協同組合長をつとめ農業協同組合の健全な運営にあたり地域農業の振興のため貢献されました。

内助功労章 喜美さん

### 市褒賞

### 地域の医療奉仕に貢献

川崎 亮一氏(59)

永年にわたり地域医療活動を行うとともにこの間北五医師会長として救急医療などをはじめ地域医療奉仕活動の確立のため貢献されました。

内助功労章 伴子さん

### 文化褒賞



内助功労章 美智子さん

西北五地域における私学教育の先駆者として学校教育の経営にあたり多くの子弟を教育し郷土の発展と私学教育の振興に貢献されました。

### 私学教育の振興に貢献

下山 弘氏(56)



工藤 哲美氏(49)

抽象画に新境地を拓き画壇に新風を送るとともに国際場裡において不撓不屈の五所川原魂を発揮して郷土の声価を高めました。

### 画壇に先駆的役割

内助功労章 弘子さん



外崎 善太郎氏(67)

農業共済組合の合併を図り永年にわたり五所川原市農業共済組合長をつとめ農業共済制度の円滑な運営にあたり地域農業の振興のため貢献されました。

### 地域農業の振興に貢献

内助功労章 ときさん



橘 貞夫氏(68)

多年にわたり五所川原市選挙管理委員会委員及び委員長として各種選挙の管理執行業務につとめ地方自治の発展に貢献されました。

### 地方自治の発展に貢献

内助功労章 キセさん



三上 光次氏(61)

永年にわたり地域医療活動を行うとともにこの間北五医師会長として救急医療などをはじめ地域医療奉仕活動の確立のため貢献されました。

### 地域の医療奉仕に貢献

内助功労章 秋枝さん



福士 孝一氏(68)

多年にわたり市議会議員として職責を全うしこの間市議会議長として地方自治の振興に寄与するとともに市勢の発展に貢献されました。

### 地方自治振興に寄与

内助功労章 せきさん

## 「市政懇談会」(後半)を開催

|| お気軽においで下さい ||

昭和五十九年度の「市政懇談会」(後半)が十月二十

ご意見ご要望を拝聴し、市政に反映させようとするものです。

六日(金)から十一月一日(木)までの間に、市内四会場での日程で開かれます。

どなたでもお気軽においで下さい。

「市政懇談会」には、市長以下三役をはじめ、関係部課(かい)長が出席、それぞれの地域の問題点や、

懇談会(後半)の日程は次のとおりです。

- ▽十月二十九日(月)午後一時三十分、コミュニティセンター飯詰
- ▽十月三十日(火)午後一時三十分、コミュニティセンター七和
- ▽十一月一日(木)午後一時三十分、市民文化会館

- ▽十月二十六日(金)午後一時三十分、コミュニティセンター松島

# 21世紀へ飛躍誓う

## 生まれ育つて三十年 盛大に記念式典

五所川原市制施行三十周年記念式典は、秋晴れの十月一日午後一時から市民体育館に市内外の被招待者、来賓など約千二百人が出席して行われ、生れ育つて三

十年の意義を噛みしめ、新たな時代への総力結集を誓い合いました。

式典では「五所川原市民歌」と「君が代」斉唱のあと、森田市長が、「間もなく到来する二十一世紀に向けて、新田開拓から培った不撓不屈の五所川原魂を発揮し、近隣町村とも協調しながらあらゆる困難を切開き、農工商など諸産業を盛んにし、住みよい活力のあるまちづくりを図りたい」と式辞を述べました。

このあと、千代島県出納長（知事代理）、田沢衆議院議員（国会議員代表）、櫛引県議会議員（県議会議長代理）、福士弘前市長（県市長会会長代理）ら来賓がお祝いの言葉を述べました。

最後に、寺田市議会議長の音頭で万歳を三唱、新生五所川原の門出を誓い合いました。

彰が行われました。続いて今年成人を迎えられた神浩、岩崎春美さんの二人から、郷土の限りない発展を願う市民憲章が発表されました。

寺田 清、外崎 義雄  
長尾政五郎、奈良 勉  
野呂 甚助、久末 セツ  
平川 豊作、前田 貢  
松川 一男、三浦 一正  
三浦 柁一、三橋栄三郎  
吉村嘉右衛門

（団体）  
浅井獅子倶楽部  
漆川獅子舞保存会  
弘南バス五所川原営業所従業員奉仕団  
五所川原甚句保存会  
五所川原中央ロータリークラブ  
五所川原ロータリークラブ  
五所川原ライオンズクラブ  
五所川原市民謡協会  
五所川原市民謡協会  
敷島町青年部  
社会法人 五所川原青年会議所



市制施行30周年記念式典会場

### 市制施行三十周年記念 表彰受賞者

#### 市では、市制施行三十周年を記念し、地域の発展に功労のあった次の個人及び団体を表彰しました。

市では、市制施行三十周年を記念し、地域の発展に功労のあった次の個人及び団体を表彰しました。

（個人）

荒谷きくゑ、伊藤 武雄

- 小田桐吉四郎、小野清茂
- 小野 稔、川浪 善伸
- 氣田 勝治、北川 孫一
- 木村孝次郎、齊藤 浩
- 笹 茂弘、清野兼次郎
- 高橋豊次郎、田澤 多一

（順不同敬称略）



新生五所川原の門出を祝い万歳三唱



市民憲章を発表する  
岩崎さんと神さん



表彰されたみなさん



曲弾びきを披露する秀栄会のみなさん



賑わっていた なつかしの五所川原コーナー

# ともに歩んで五十年

## 五十三組が合同金婚式

「半世紀もの長い間、ご苦労さま」。十月三日、市中央公民館に結婚五十年目を迎えた市内の五十三組の夫婦が出席して合同金婚式が行われました。

紀の間、人生の労苦をとものに味わつての歴史は貴重なものです。今後とも長寿を保ち、社会に貢献してください」とあいさつ、それぞれの席を回って顕彰状と記念品を手渡しました。

次いで来賓の祝辞があり、出席者を代表し、高橋慶蔵さん（七〇）が「これから夫婦仲良く楽しい人生を送りたい」と謝辞を述べました。

また、蒔苗米三郎さん（七四）が「結婚五十年の歩み」と題して、これまでの結婚生活に対する所感を述べ感銘を与えました。

このあと出席者たちは、昼食をとりながらアトラクションを楽しみ、憩いのひとときを過ごしました。



顕彰状を贈られる金婚夫婦

- 顕彰されたご夫婦**
- 土岐金蔵・サキ（錦町）、小野重五郎・みどり（錦町）、濱館八郎・ミキ（大町）、秋元勝三郎・ユミ（中平井町）、高橋慶蔵・タマ（敷島町）、平山泰三郎・かつ（布屋町）、今林政一・つま（鳥森、蒔苗米三郎・ヤサ（柏原町）、山崎千三郎・ソワ（田町）、成田治逸・ハル（小曲、前田 貢・つな（漆川、笹森

- 喜之助・りつ（水野尾、伊藤浅一・あぐり（太刀打、須郷仁次郎・チエ（金山）岡田久市・きみ（高瀬）長尾一郎・セイ（鶴ヶ岡）、小野善作・きみ（鶴ヶ岡）、小野善七・イマ（藻川、斎藤嘉七郎・はな（梅田）、石黒稔・ツマ（梅田）、神 由雄・トキ（中泉）、土岐恒四郎・ハル（神山）、小笠原千代太郎・きた（神山）、葛西金五郎・まさ（神山）、石岡徳三・きよ（野里）、石岡作次郎・みつ（野里）、勝浦石太郎・みさ（野里）、斎藤多三郎・よね（戸沢、工藤友衛
- ・スギ（豊成、阿部秀四郎・キサ（羽野木沢、阿部喜一郎・ナヨ（羽野木沢、阿部文太郎・す江（原子、阿部円次郎・チヨ（羽野木沢、佐藤柏壺・ふさ（毘沙門、三上元一・サクラ（長富、笠井千代吉・まさ（長富、秋元由蔵・サキ（飯詰、鳴海興之進・り系（飯詰、小野七三郎・まつ系（飯詰、中谷哲夫・たよ（飯詰、柴田福蔵・サクラ（飯詰、岩淵由吉・リツ（姥范、平山源蔵・ソヨ（湊、藤田金作・みち系（姥范）、山口大平・たか（八重菊）、奈良岡多
- 一郎・ヤナ（稲実）、平山富作・かね（湊）、中川兼蔵・タミ（七ツ館）、一戸 斌・マサエ（広田）、藤森長吉・へい（川山）、藤森長治郎・い系（川山）、岡田又一・チサ（桜田）、奈良要作・テル（田川）

### 短歌

原発の予定地巡り白糠の港の漁船の旗高く舞ふ  
 今宵照る月を眺めて風鈴の音を聞きつつ酌む  
 静けさよ 和田 秀峰  
 出来島の荒磯に建てる砂防の碑に成田連治の歌刻まれぬ 山上 和美  
 まろやかに稲穂稔りて黄金波風渡り来てたおらたおらと 岩谷 勝義  
 次世紀へ栄えゆくべきこの街に朝めぐり来て秋空広し 小笠原俊亮  
 梵鐘をひとつ鳴らして逃げまどふ子等賑わし墓参の夕べ 岩谷 明雄  
 自らの罪科をさらしなにかも追へつめられたる人を哀れむ 松本重五郎

**教育振興基金に20万円寄付**

津軽鉄道株式会社代表取締役会長佐々木啓二氏は、藍綬褒章を受けた記念として九月二十九日（財）五所川原市教育振興会に二十万円を寄付されました。

佐々木氏からの寄付は、今回で七回目となり関係者から喜ばれております。



目録を渡す佐々木氏（左）

# ルールとマナーを身につけよう

## 交通事故防止市民大会

### 五所川原市交通事故防止市民大会



交通事故の現況を報告する地代所署長

### 大会宣言

私たち五所川原市民は、人命尊重の精神に徹し、悲惨な交通事故を防止し、安全で住みよい郷土を築くため、交通安全運動を力強く展開してまいりました。

しかしながら、最近とくに若年者の飲酒、暴走運転による死亡事故が続発していることは、まことに残念でなりません。

五所川原市では、かかる事態を厳しく受けとめ、去る9月17日に『交通死亡事故抑止非常事態』を宣言しているところであります。

私たちは、本日この大会を契機に自から正しい交通ルールとマナーを身につけ、これを実践するとともに、交通事故の現状と実態を把握し、新たな決意のもとに市民一丸となって交通事故防止に総力を結集し、また関係機関団体が相互に連携を密にして交通事故絶滅のために全力を尽くすことをここに宣言いたします。

昭和59年9月27日

五所川原市交通事故防止市民大会

市立毘沙門小学校六年の江良彦彦君は、去る八月二十三日、中里町で行われた第三回東北学童相撲大会で個人優勝をしました。江良君は、八月四日、鯨ヶ沢町での県大会でも優勝して二冠王となり、身長一六六cm、体重一〇三kgの堂々たる体で、礼儀正しく、練習熱心で将来が期待されています。

### 横綱に江良君

東北大会で優勝



東北学童相撲チャンピオンになった江良君

秋の全国交通安全運動期

間中の九月二十七日、市民文化会館に交通安全協会各支部会員など関係者約五百人が参加し、「交通事故防止市民大会」が開かれ、正しい交通ルールとマナーを身につけ、新たな決意のもとに市民一丸となって交通事故防止に総力を結集しようとの大会宣言をしました。大会では、交通事故の犠牲者に対し黙とうをしたあと、森田市長が「交通ルールとマナーを守り、人命尊重の精神に徹し、市民一人一人が悲惨な交通事故問題をかみしめ、事故のない安

#### ▽交通安全功労者

- 山形 四郎(松島町)
- 松本 柁五郎(中平井町)
- 野呂 甚助(蓮沼)
- 福士 孝一(岩木町)

全で明るい市建設をめざしてがんばりましょう」とあいさつをし、地代所警察署長が交通事故の現況を報告しました。また、松島町の山形四郎さんら十一人の交通安全功労者、優良団体、優良学校等を表彰しました。続いて、五一中三年の工藤晃久君が体験発表し、神奈幸青年会議所理事長が大会宣言を読みあげました。

- 松野 柁一(松野木)
- 小田 桐秀則(高野)
- 坂本 正夫美(飯詰)
- 外崎 興志一(長橋)
- 寺田 昇(吹畑)
- 古川 嘉美(難田)
- 鈴木 丹鶴子(原)

- 永楽会(川端町)
- 寿会(中平井町)
- 幾朗会(幾島町)
- 長寿会(前田野目)
- 第二長寿会(前田野目)
- 第一長寿会(高野)
- 第二長寿会(高野)
- 長寿会(中泉)

- 長生会(杉派立)
- 第一長寿会(元町)
- 安楽会(鎌谷町)
- 幸生会(川山)
- 松鶴会(松島町)
- 八千誉会(千鳥町)

(敬称略)

- 交通安全協会毘沙門支部
- 津川 要
- 毘沙門交通安全母の会
- ▽交通安全優良学校
- 県立五所川原工業高等学校
- ▽交通安全協力者
- 五所川原青年会議所
- ▽老人クラブ対抗無事故コンクール優良団体
- 柏生会(柏原町)



# 市営住宅の入居者募集 広田団地

- このたび市では、下記の要項により市営住宅の入居者を募集いたします。
- (1) 募集期間 10月24日から11月7日まで
- (2) 入居予定 12月24日以降(予定)
- (3) 入居者の選考 市営住宅管理条例第9条の規定により実態調査を行い、市営住宅入居者選考委員会に図って決定します。
- (4) 建設場所及び種別 広田団地(みどり町2丁目地内)

種別	構造	募集戸数	規模	1戸当床面積	家賃(予定)	敷金
第2種	中層4階建	24	6丁押入、6丁4.5丁押入、台所浴室、物置物入、ホール	㎡ 70.12	円 28,000	家賃の3カ月分

- 入居資格は、下記のとおりです。
- (1) 現に同居し、または同居しようとする親族がある方
- (2) 市内に住所または勤務場所を有する方
- (3) 住宅に困っている方
- (4) 市税等を滞納していない方
- (5) 政令で定める次の基準の収入のある方

種別	扶養親族						
	収入基準(月額)	0人	1人	2人	3人	4人	5人
第2種	87,000円以下	円 1,705,999	円 2,121,999	円 2,535,999	円 2,949,999	円 3,317,501	円 3,680,001

※ 収入基準の額は各種控除後の月収全額で粗収入の年収金額に換算したものです。

- 申込手續書類(各1部)
- (1) 入居申込書
- (2) 所得金額計算書(給与所得者は昭和58年分源泉徴収票、給与以外の所得者は昭和58年分所得証明書を添付すること。)
- (3) 住民票の謄本(婚約中の人は、双方の住民票)
- (4) 市税等を滞納していない証明書(源泉徴収票添付者は不要)
- (5) 婚約者は、婚約証明書
- 申込先(申込用紙交付場所)  
市建築住宅室 住宅係 ☎352111 内線242)
- その他の注意事項
- (1) これまで空家住宅入居申込書を提出された方でも新規募集ですのであらたに申込んでください。
- (2) 申込書等は本人が持参してください。
- (3) 申込書には、現住所、連絡先、電話番号等を明確に書いてください。

十月二十二日から十月二十八日までの一週間、県下一斉に秋の火災予防運動が行われます。

## 秋の火災予防運動

### あなたです！火事を出すのも防ぐのも

この時期は、空気が非常に乾燥し、季節風も強く、火災が発生し易い状態が続きます。

また消防本部では、次の日程で、市内全域の一般家庭並びに防火対象物及び危険物施設の防火診断を行います

三時まで

▽対象範囲 市内全域

(五所川原地区消防本部)

各家庭や職場では、これから迎える冬期に備えて火器等の取り扱いに十分注意して下さい。

いますからご協力下さい。  
▽実施期間 十月二十二日から十月二十八日まで  
(午前九時三十分から午後

## 農業用免税軽油

### 交付申請を受け付け

▽受付日時 十一月二十六日(月)、午前九時三十分から午後三時三十分まで

▽受付場所 市内栄町 県合同庁舎内、五所川原県事務所

▽申請用紙 当所ほか、各農業協同組合、軽油販売店にもあります。  
なお、申請書の書き方は

当事務所で指導しております。各農協、軽油販売店でも説明し、申請書を取りまとめ、一括して県事務所提出しています。  
▽お問い合わせ 提出書類など、詳しくは五所川原県事務所・間税課(☎342111番・内線207・208番)へお問い合わせ下さい。



## 市税納期内完納にご協力を

10月31日は、市(県)民税の三期が納期限となっております。

滞納や納付もれはありませんか。

滞納されている方は、なるべく早く納付してください。さるようお願いします。

(市収納課)

## 青色申告で正しい申告を

現金出納帳や経費帳などの帳簿をきちんとつけ、その帳簿に基づいて所得や税額を正しく計算して申告する人は、所得の計算上「青色事業専従者給与」や「みなし法人課税」など有利な取扱いが受けられることになっています。これを青色申告といい、現在では、商売をして申告している人の半数以上が青色申告をしています。  
正確な記帳に基づく青色申告で正しい申告をしましょう。

(五所川原税務署)

